

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(令和4年度)

事業実施主体名 (協議会名)	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見					
											作成年度	基準年度	目標年度	被害金額(万円)				被害面積(ha)							
														対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率			基準値	目標値	実績値	達成率	
山元町農作物有害鳥獣対策協議会	山元町	山元町内	R2	イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ ニホンザル カラス類 カルガモ キジハト	有害捕獲	イノシシ捕獲50頭 タヌキ捕獲76頭 ハクビシン捕獲62頭 アライグマ捕獲19頭 カラス類捕獲76羽 カルガモ捕獲29羽 キジハト捕獲12羽	山元町農作物有害鳥獣対策協議会				<p>くくり罠を始めとする有害鳥獣捕獲罠を導入することにより、各有害鳥獣の捕獲頭数は令和4年度のイノシシを除き増加している。</p> <p>また、農用発信機・受信機等の先進技術を用いた捕獲補助機等を導入することにより、効率的な捕獲活動・実施隊員の巡回回りの捕獲活動に際し負担軽減を図ることができた。</p> <p>令和4年度において、イノシシは餌の影響から生息数自然が減少し、被害も減少したが、近年増加傾向にあるタヌキ等の小型獣の被害について軽減が図れた。</p>	令和1年度	平成30年度	令和4年度	イノシシ	24.8	22.3	7.8	680	0.26	0.234	0.02	923.1	<p>令和4年度においては、イノシシの被害金額及び面積が減少し目標を達成できた。</p> <p>令和4年度はこれまでの対策の効果が目立ったことやイノシシの生息数自体が餌の影響により個体数が減少していることで被害も少なかったが、以前もイノシシが減少した後、イノシシの生息数が増加した時期があり、今後、同様に増加することが考えられることから、更なる実施隊との連携・有害鳥獣対策等の導入・新技術の導入等により、捕獲活動を進めていく。</p>	<p>有害鳥獣捕獲事業については、町の被害防止計画に基づき、適正に事業が実施されており、農作物への被害についても、概ね目標達成していることから、引き続き町実施隊と連携を図り、安全管理において法を順守し、有害鳥獣の農作物被害対策を推進していただきたい。(自然保護員 富田 健一)</p>
				イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	くくり罠10台	山元町農作物有害鳥獣対策協議会	R2.12.22	100%	カルガモ カラス キジハト		0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	#DIV/0!						
				イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	くくり罠10台	山元町農作物有害鳥獣対策協議会	R3.12.8	100%	ニホンザル		0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	#DIV/0!						
			イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	イノシシ捕獲62頭 タヌキ捕獲58頭 ハクビシン捕獲50頭 アライグマ捕獲13頭 カラス類捕獲78羽 カルガモ捕獲16羽 キジハト捕獲3羽	山元町農作物有害鳥獣対策協議会			ネズミ類	0		0	0	#DIV/0!	0	0	0	#DIV/0!							
			イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	農用発信機5台	山元町農作物有害鳥獣対策協議会	R4.3.28	100%	アライグマ タヌキ ハクビシン	0		0	1.9	#DIV/0!	0	0	0.02	#DIV/0!							
			イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	農用発信機5台	山元町農作物有害鳥獣対策協議会								#DIV/0!				#DIV/0!							
			イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ ニホンザル カラス類 カルガモ キジハト	有害捕獲	イノシシ捕獲7頭 タヌキ捕獲61頭 ハクビシン捕獲69頭 アライグマ捕獲16頭 カラス類捕獲64羽 カルガモ捕獲16羽 キジハト捕獲9羽	山元町農作物有害鳥獣対策協議会								#DIV/0!				#DIV/0!							
			イノシシ タヌキ ハクビシン アライグマ	有害捕獲	農用発信機7台	山元町農作物有害鳥獣対策協議会	R4.12.26	100%						#DIV/0!				#DIV/0!							
合計											24.8	22.3	9.7	604	0.26	0.234	0.04	846.2							

注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
 2:事業効果については、地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。